

東南海・南海地震等に関する連携プロジェクト
研究成果発表会

2011年3月11日

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

東南海・南海地震等に関する連携プロジェクト 研究成果発表会

日時 平成 23 年 3 月 11 日（金） 10:00～16:00

会場 兵庫県公館（神戸市中央区下山手通 4-4-1）

主催 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

趣旨

人と防災未来センターでは、関西・四国の府県・政令市とともに、今世紀前半にも確実に発生すると予測されている東南海・南海地震による被害を軽減するための研究プロジェクトを平成 19 年度から 4 年間にわたり実施してきた。本プロジェクトは、東南海・南海地震災害という未曾有の災害における、被災社会のイメージを関係者間で統一し、組織間連携が円滑に行える環境を整備することを目指してきた。本日の発表会では、その成果をプロジェクト関係者ならびに本プロジェクトに協力して下さった多くの関係組織、さらには、関西・四国を中心とする多くの関係者の皆様と共有する場としたい。

プログラム

1. 概要説明

奥村与志弘（人と防災未来センター 主任研究員）

2. スーパー広域災害としての東南海・南海地震の特殊性

奥村与志弘（人と防災未来センター 主任研究員）

3. 大量避難者に対する避難所運営

紅谷 昇平（人と防災未来センター 研究主幹）

定池 祐季（人と防災未来センター 研究員）

4. 東南海・南海地震における要援護者支援の可能性

石川 永子（人と防災未来センター 主任研究員）

5. 人工透析患者の医療対応の課題と広域支援の可能性

照本 清峰（和歌山大学 准教授）

6. 東南海・南海地震における孤立集落支援プログラムの検討

近藤 伸也（東京大学 特任研究員）

7. 救援物資の輸配送業務を事例とした組織間連携のあり方

宇田川真之（人と防災未来センター 主任研究員）

8. スーパー広域災害を迎え撃つために～広域応援調整システムの構築に向けて～

阪本真由美（人と防災未来センター 研究員）

上野 友也（人と防災未来センター 研究員）

9. 広域連携を見据えた災害対応組織のあり方

越山 健治（関西大学 准教授）